

機器取扱時の安全上の注意

※ご使用前に、この「器具取付時の安全上の注意」を、よくお読みの上、正しくお使いください。

警告

- 器具の取り付けは、取扱説明書により確実に取り付けてください。取付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因となります。
- 屋外や風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。漏電し、火災・感電の原因となります。
- 電源線を無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。電源線が破損し、火災・感電の原因になります。

- 器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取付に不備があると落下し、感電・けがの原因となります。
- 電源線接続の際は、器具の取付方法により確実に行ってください。接続が不完全な場合、接続不良による発熱、火災の原因となります。

注意

- 器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
- ストーブなど温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。火災・故障の原因になります。

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- 天井の取付面の構造や材質により、取付面が変色等を起こす場合がございます。

使用時の安全上の注意

※ご使用前に、この「使用時の安全上の注意」を、よくお読みの上、正しくお使いください。

警告

- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。
- 部品の追加改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具の隙間や放熱穴に、金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

- シェードなどの部品を外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。不完全に取り付けると、落下してケガ・物損の原因となることがあります。
- 万が一、煙が出たり、変な臭いがするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- お手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと感電の原因となることがあります。

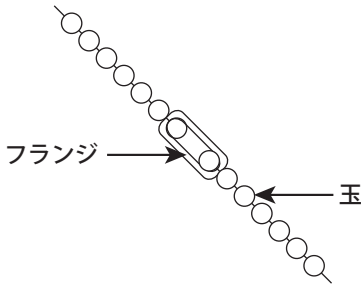
注意

- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで当社にご連絡ください。
- お手入れの際は、水洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。
- 空気の流れが悪いと電球の熱による空気対流で周囲のほこりが天井面に付着し変色させることがあります。

- 点灯中または消灯直後は電球及び器具が高温になっておりますので触らないでください。やけどの原因になります。
- ファンが回転している間は絶対に触れないでください。けがの原因になります。
- 万一、羽根が破損した場合は必ず全ての羽根を交換してください。破損した羽根だけを交換すると、振動・落下の原因となることがあります。

STEP6 プルススイッチチェーンを連結します

- ①本体下部の横にあるファン回転速度調節のチェーンと本体最下部にある照明入 / 切のチェーンに、付属のプルススイッチチェーンを連結します。片方のチェーン先端のフランジ穴に、もう片方のチェーン先端の玉を斜めに入れ、チェーン同士を平行にするように押しこむことで連結します。

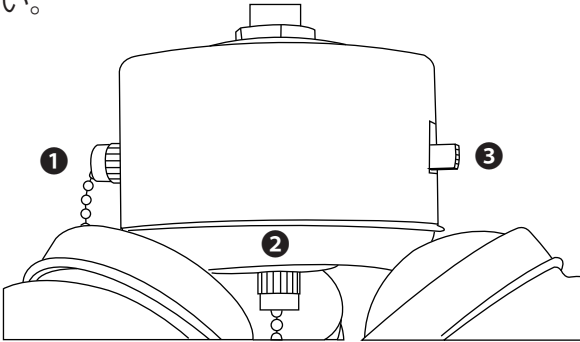


実際に使用してみましょう

本製品の照明及びファンの操作は下記のように行います。壁スイッチがある場合、必ず ON であることをご確認ください。

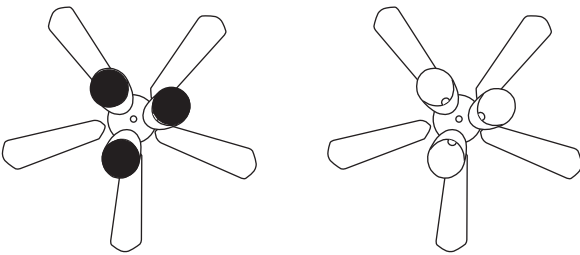
■本体には下記のスイッチがあります。

- ① 回転速度調節のチェーンによるプルススイッチ
- ② 照明入 / 切のチェーンによるプルススイッチ
- ③ ファンの回転方向 正 / 逆 スイッチ



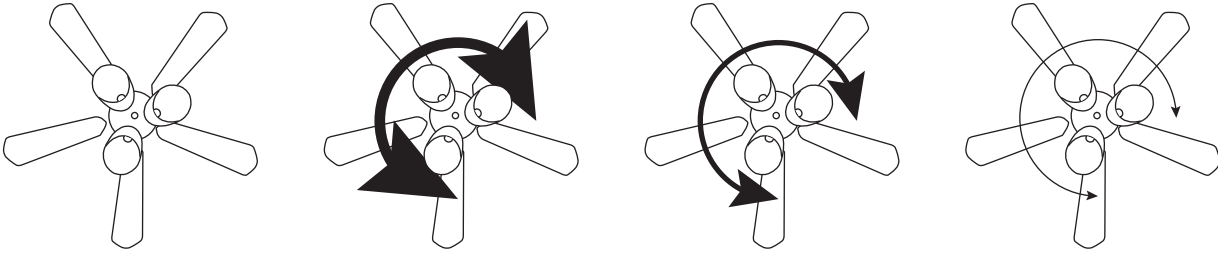
■照明 入 / 切

照明入 / 切のチェーンを引くことで操作します。入で 3 灯全てが点灯、切で 3 灯全てが消灯します。



■ファンの強 / 中 / 弱 / 切

ファン回転速度調節のチェーンを引くことで操作します。特に強回転では高速でブレードが回りますので、頭をぶつけないようにご注意ください。



■ファンの回転方向 正 / 逆 スイッチ

ファンの回転を時計回り / 反時計回りに切替えます。冷房時は反時計回りを、暖房時は時計回りを選んでください。回転中でも回転方向の切り替えは可能ですが、ブレードに指が当たると怪我の原因になりますので、必ずファンの回転を止めてから切り替えを行ってください。

